

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ロゼ&ビューティー美容専門学校
設置者名	学校法人美昇学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	62 単位	3×2＝6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ロゼ&ビューティー美容専門学校
設置者名	学校法人美昇学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 新 URL 予定

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員 (H25.4.22～現在)	R 7.10.30 ～ R11 年度定時評議員会 終結の時	経営に関する 助言
非常勤	大阪市立中学校長 (H19.4～ H23.3.31) 無 職 (H23.4.1 ～現在)	R 7.10.30 ～ R11 年度定時評議員会 終結の時	教育・カリキュラム に関する助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ロゼ&ビューティー美容専門学校
設置者名	学校法人美昇学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【作成に係る取組み】 毎年度学内会議を開催し、以下の内容を検討することで新年度の授業計画書を作成する。 ・ 授業内容 ・ 到達目標 ・ 授業方法 ・ 授業科目の設定 ・ 授業スケジュール ・ 担当教員の選定 ・ 成績評価の方法・基準 ・ その他必要事項 【公表に係る取組み】 授業計画書を新年度オリエンテーションにて配布して説明を実施し、生徒の理解を得るように努めるとともに、HP 上に公表予定。またクラス担任教員を配置し、学籍に関する相談窓口を設けるなど、生徒からの相談に対応できる体制も整えている。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・ 各学期末に行う試験や実習の成果、課題提出のほか、授業への取組み姿勢を加味して、科目担当者が総合的に勘案して成績を評価している。 ・ 各期末試験においては 100 点満点中 60 点以上の合格点をとっていること。 ・ 出席率が 2/3 未満の生徒については成績評価の対象としない。尚、前期・後期それぞれにおいて成績評価を行う。 ・ 成績評価が 5 段階のうちの 3 に満たない場合は、事前に告知した追試日程に向け、補講の形で合格点に達するよう指導を行い、全員が単位取得可能となるよう努めている。 ・ 科目担当者が行った評価結果について、校長・副校長・担任等で構成する成績判定会議による履修認定を実施している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・各授業教科において、各期末に筆記・実技を基本とする試験を実施する。一部授業では、小テストやレポート提出などの課題も実施する。 ・授業科目の成績評価は、定期試験による成績、ならびに課題提出や出席率、授業態度等による平常成績を総合的に判断して5段階評定で行う。 ・成績評価については絶対評価により判定する。 尚、5段階評価の基準は下記の通りとする。 ① 評価5 (91～100) ② 評価4 (81～ 90) ③ 評価3 (60～ 80) ④ 評価2 (21～ 59) ⑤ 評価1 (0～ 20)	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業判定規程に定める下記の評価基準により、校長・副校長・担任及びその他校長が必要と認めた者で構成する卒業判定会議を当該年度の2月末日までに行い、校長の確認・決定のうえ卒業を認定する。 (1) 美容業務を行うにふさわしい知識、技術及び人格を備えていること。 (2) 既定の全ての授業科目及び実習の出席率を満たしていること。 (3) 既定の授業料等学納金を完納していること。 (4) 既定の教育課程の必要時間数を履修していること。 (5) 全科目において成績評価が3以上であること。 尚、校長が適正な処置であると認めた場合は、特別に評価を加え、卒業の要件とできる。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ロゼ&ビューティー美容専門学校
設置者名	学校法人美昇学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	67 単位数	単位時間	単位時間 /単位	単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容業界で活躍するための技術・知識・マナーなど、卒業時の美容師国家資格取得を主な到達目標とするとともに、現場で求められる即戦力の育成に重点を置いた授業内容を盛り込むよう努める。カリキュラム編成時には、社会的ニーズやトレンド等も考慮して科目を決定し、到達目標及び成績評価の方法を明確に定めて HP で公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 学期末の定期試験による成績、確認テストやレポート等の課題提出や出席率、授業態度等の評価項目により、総合的に判断して各授業科目の成績評価を 5 段階評定で行う。5 段階評価の基準は「5」91～100 点、「4」81～ 90 点、「3」60～ 80 点、「2」21～ 59 点、「1」0～ 20 点とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 全科目において評価が「3」以上であることを要し、「3」に満たない場合は、追試により評価を得ることが可能である。卒業判定規程に定める評価基準により、校長・副校長・担任等で構成する卒業判定会議を行うことで、認定評価基準の明確化及び客観的で適正な評価制度の運用を行う。

学修支援等
(概要) 学修の到達目標である美容師国家資格を始めとする資格取得や学習内容に関して、教員による指導や受験対策、補習などを行う。また学習以外の学校生活や就職に関する相談など、履修状況に応じて複数の教員等が関与し、相談しやすい環境づくりを行うことで、こまやかな支援・指導を行うよう努める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
美容科	200,000 円	630,000 円	370,000 円	その他には、施設維持費 (120,000 円)、教科書及び教 材費(250,000 円)を含む
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者評価委員会には関連企業の役職員・卒業生等から委員(定数3名以上)を選出し、教育活動・学修成果・進路指導・教育環境及び学校運営・財務等の項目についての自己評価結果を委員会における評価項目とする。 評価委員会の提言・改善意見を踏まえ、教育活動と学校運営の充実と改善を図るべく、学校長の責任において遅滞なく施策を実施し、カリキュラム編成や生徒募集活動等に反映していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、開設年度の翌年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行うものとする。		
学校関係者評価結果の公表方法 開設年度の翌年度末までに評価を確実に公表するものとする。 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)